

令和元年度 公営企業会計決算の概要

工業用水道事業会計

- 地下水採取による地盤沈下の防止と産業基盤の整備を図るため、昭和39年に給水を開始。
- 現在、草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部（工業用水法による地下水汲み上げ規制区域である県南東部地域）にある事業所に工業用水を供給。

業務概要

- 給水事業所数 150事業所（前年度 151事業所 △1）
- 料金単価 22円53銭 /m3（税抜、前年度と同額）
- 給水契約水量 183千m3/日（前年度 183千m3/日 +0.2%）
- 企業債残高 3億7千8百万円（前年度 5億2千9百万円 △28.6%）

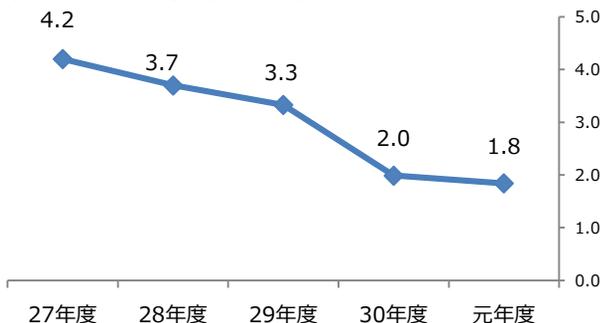
決算概要

単位：百万円

	元年度	30年度	増減額	増減率(%)
事業収益 (うち給水収益)	1,762 (1,579)	1,793 (1,583)	△31 (△4)	△1.7 (△0.2)
事業費用	1,578	1,594	△16	△0.9
純利益	184	199	△15	△7.8

- ・施設管理委託料の増等により、純利益は前年度比7.8%減の184百万円。

純利益の推移（単位：億円）



- ・中長期的には、契約水量の減少に伴い給水収益は減少傾向。
- ・施設の更新等に伴い、減価償却費・除却費は増加傾向。
- ・これらにより純利益は減少傾向。

水道用水供給事業会計

- ・水需要への対応や地盤沈下防止を目的に、昭和43年に給水を開始。
- ・水源は河川表流水（荒川・利根川水系）で、水道事業者55団体（58市町）へ水道用水を供給。

業務概要

- 実績給水量 1,743千m³/日（前年度 1,733千m³/日 +0.5%）
- 料金単価 61円78銭 /m³（税抜、前年度と同額）
- 企業債残高 1,217億3千3百万円（前年度1,284億6千7百万円 △5.2%）

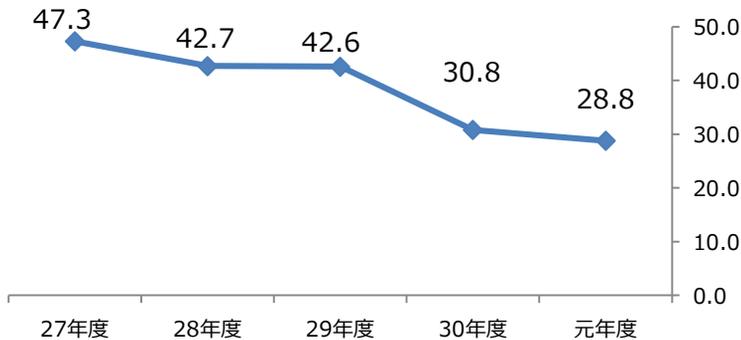
決算概要

単位：百万円

	元年度	30年度	増減額	増減率(%)
事業収益	44,403	44,357	46	0.1
（うち給水収益）	(39,403)	(39,084)	(319)	(0.8)
事業費用	41,522	41,276	246	0.6
純利益	2,881	3,081	△200	△6.5

- ・施設管理委託料及び水源施設等の管理負担金の増等により、純利益は前年度比6.5%減の2,881百万円。

純利益の推移（単位：億円）



- ・給水量及び給水収益は横ばい傾向。
- ・施設の老朽化に伴い、修繕費等は増加傾向。また、施設の更新による除却費等が増加の見込み。
- ・これらにより純利益は減少傾向。

地域整備事業会計

- ・地域経済の活性化や雇用機会の拡大などを目的に、昭和39年に「宅地造成事業」として工業団地等の造成を開始。
- ・吉見、大麻生、妻沼ゴルフ場を株式会社さいたまリバーフロンティアに貸し付け。

業務概要

- 事業実施地区（11地区）
加須IC東地区、寄居スマートIC美里地区、草加柿木地区、松伏・田島地区、川越増形地区、行田富士見地区、嵐山花見台地区、富士見上南畑地区、鴻巣箕田地区、寄居桜沢地区、羽生上岩瀬地区
- 団地リース収入
6団地22社 48.7ha 4億2千9百万円（前年度 同額）
- ゴルフ場施設貸付収入
吉見、大麻生、妻沼ゴルフ場 3億1千5百万円（前年度 2億5千1百万円）

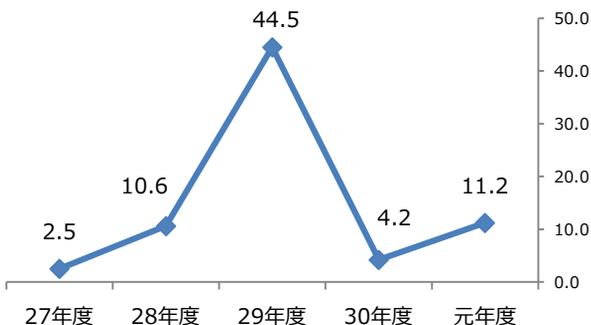
決算概要

単位：百万円

	元年度	30年度	増減額	増減率(%)
事業収益	9,000	1,048	7,952	758.7
事業費用	7,884	625	7,259	1,160.3
純利益	1,116	423	693	164.1

- ・産業団地分譲（加須IC東地区・寄居スマートIC美里地区）に係る売却収益の計上等により、事業収益は7,952百万円の増。
- ・産業団地分譲に係る売却原価及びゴルフ場資産に係る減損損失の計上等により、事業費用は7,259百万円の増。
- ・これらにより、純利益は前年度比164.1%増の1,116百万円。

純利益の推移（単位：億円）



- ・事業収益の大半が分譲収入であるため、純利益は分譲時期により大きく変動する。